

WinActor® AI連携ライセンス



生成 AI との連携機能が標準搭載

お客さまは生成 AI ベンダーとの契約なしで、生成 AI 連携機能をすぐに利用可能



ライセンスを効率的に使える

フローティングライセンス方式により複数端末で利用でき、ライセンスを有効活用可能
お客さま側でライセンス管理製品の準備も不要



情報漏洩のリスクを回避

他のユーザーにお客さまのデータが使われることはありません
さらに日本リージョンの Azure OpenAI で安心して利用可能



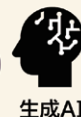
インターネット



AI連携ライセンスの契約に含まれます

ライセンス管理サーバー

Azure OpenAI



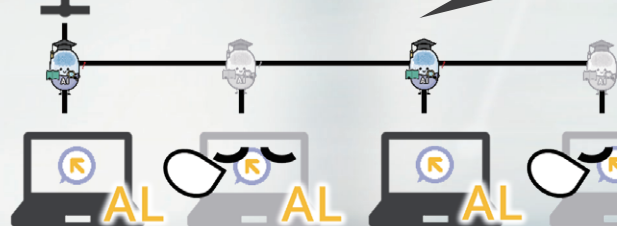
生成AI

- NTT-AT の管理サーバーへのインターネット接続 (HTTPS 通信) が必要
- 2026 年 9 月末までは生成 AI の利用量の上限はなく、無制限で利用可能購入したライセンス数の範囲内で、端末を限定せず WinActor が利用可能※1
- 同時利用する端末数分のライセンスが必要

例) AL を 2 ライセンス利用中の場合

2 台まで同時利用可能
利用する端末は限定されません※2

NTT-AT 管理サーバー



裏面もあるよ

※ 1 : 2026 年 10 月以降、生成 AI 利用量の上限が設定されます

※ 2 : 利用予定の全ての端末に WinActor(AL) のインストールが必要

WinActor ライセンスの詳細は、右の QR コードからご覧になれます ▶



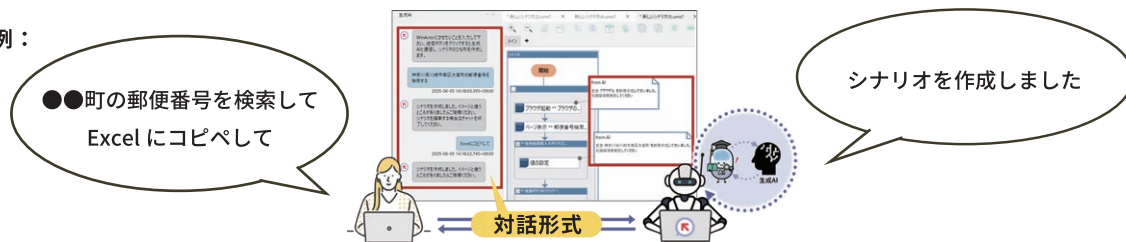
AI 連携ライセンスの 4 つの搭載機能は裏面へ



対話型シナリオひな形作成

- ・ チャット形式でシナリオのひな形が作成できる
- ・ 生成 AI が作成したシナリオのひな形を、対話により修正・追加し、ブラッシュアップ
- ・ はじめてのシナリオ作成でも簡単に作り上げることが可能

例：



帳票操作の簡単化

- ・ 生成 AI 連携で帳票を読み込ませることで、バラバラのフォーマットの帳票でも、フォーマットを意識することなく、簡単にシナリオ作成が可能
- ・ 帳票内容を自動で認識・整理できるため、スピーディなシナリオ作成が可能

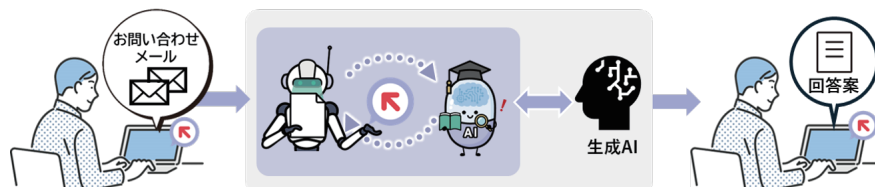
例：



シナリオ内生成 AI 応答利用 (テキスト生成)

- ・ シナリオの中で生成 AI と直接やりとりを行うことで、問い合わせ回答案作成や要約、AI 翻訳などテキストを対象とした自動化が可能
- ・ これまで手作業でおこなっていた情報の整理や分析、文章作成といった業務も自動化
これにより、RPA の適用範囲が格段に広がる

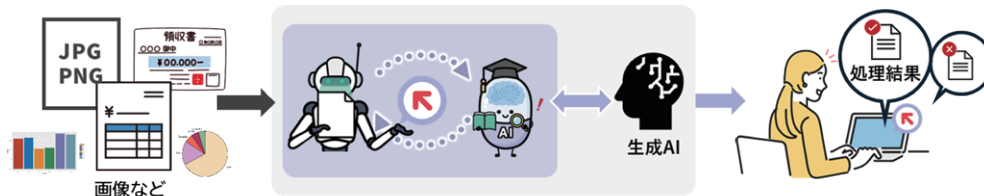
例：



シナリオ内生成 AI 応答利用 (画像認識)

- ・ 生成 AI に指示をあたえることで、画像にあるさまざまなデータの理解・抽出が可能
- ・ 生成 AI が抽出したデータのシステム転記や Excel 保存など、非定型業務を含めた自動化を実現

例：



WinActorの詳細やお問い合わせはこちらから

<https://winactor.biz/>

※ 文中の「WinActor」は管理統制ツール他 WinActor サポート製品群を含みます。
※ 記載された製品名等は、各社の商標または登録商標です。
※ 本パンフレット記載の内容は予告なく変更することがあります。(2025 年 9 月現在)



製造元

NTTアドバンステクノロジー株式会社

アプリケーション・ビジネス本部 〒212-0014 神奈川県川崎市大宮町1310

WinActor 販売代理店